|  |
| --- |
| **第2号議案**  ２０１９年度　事業報告    社会福祉法人　やまだ福祉文庫  生活介護事業所  自　　　然 |

２０１９年度　事業報告

**もくじ**

1. 事業の目的
2. 基本方針
3. 利用者の状況について
4. ２０１９年度利用者入所状況
5. ２０１９年度月別入所状況
6. ２０１９年度利用者退所状況
7. 入所者の当施設利用前の状況
8. 前年度からの状況
9. 利用者性別・年齢別構成
10. 知的障害状況（療育手帳）
11. 障害程度区分
12. 通所手段
13. 居住地構成
14. 居住先状況
15. 施設サービス利用率
16. 職員研修
17. 行事　　施設行事、地域行事、その他行事
18. 災害事故防止対策
    1. 非常災害対策
    2. 安全運転管理
19. 給食について
20. 健康管理
21. 創作活動
22. 地域福祉について
    1. 地域交流
    2. 日中一時支援サービス
23. 作業活動報告
    1. 農耕班
    2. 園芸班

**－１－**

**１．事業の目的**

知的障害者福祉法及び障害者総合支援法に基づき、利用者一人ひとりの能力や適性及びニーズに応じて、生活支援、就労支援のサービスを提供し自立した日常生活、社会生活が確立できるよう支援する。

　知的障害者福祉法の基本理念と関係法令及び省令等に基づき、その利用者に対して、その自立と社会経済活動への参加を促進する観点から、必要な訓練及び職業の提供を適切に行い、出来るかぎり居宅に近い環境の中で、地域や家庭と結び付きを重視した支援を行う。

**２．基本方針**

施設の基本方針

（１）利用者の人権を大切にし、利用者一人一人としっかり向き合い個々のニーズにあった支援

（２）利用者・家族から、信頼を得られるサービスの提供

（３）地域との連携

**３．利用者の状況について**

1. ２０１９年度利用者入所状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 定　員 | 入　　所 | | |
| 男　　性 | 女　　性 | 計 |
| ２０１９年度 | ２０名 | ０名 | ０名 | ０名 |

（２０１９年４月１日～２０２０年１月３１日現在）

1. ２０１９年度月別入所状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | １２月 | １月 | 合計 |
| 男性 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 |
| 女性 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 |
| 計 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 |

（２０１９年４月1日～２０２０年１月３１日現在）

1. ２０１９年度利用者退所状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | | | 退　所　理　由 |
| ２０１９年度 | 男性 | ０名 |  | |
| 女性 | ０名 |  | |

（２０１９年４月1日～２０２０年１月３１日現在）

**－２－**

1. 入所者の当施設利用前状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 在宅 | 特別  支援学校 | 生活介護 | | 就労移行 | 就労継続 | | その他 | 計 |
| 入所 | 通所 | Ａ | Ｂ |
| 男性 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 |
| 女性 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 |
| 計 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 |

（２０１９年４月1日～２０２０年１月３１日現在）

1. 前年度からの状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 入所総数 | 退　　　　　　　　　　　　所 | | | | | | 現員 |
| 就労 | 他施設 | 在宅 | 死亡 | その他 | 計 |
| 男性 | １７ | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | １７ |
| 女性 | ８ | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | ８ |
|  | ２５ | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | ２５ |

（２０２０年１月３１日現在）

1. 利用者性別・年齢別構成

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | １８～１９歳 | ２０～２９歳 | ３０～３９歳 | ４０～4９歳 | ５０～5９歳 | ６０～６９歳 | 計 | 平均年齢 |
| 男 | １ | １０ | ２ | ４ | ０ | ０ | １７ | ２９．５歳 |
| 女 | ０ | ３ | ３ | １ | ０ | １ | ８ | ３７歳 |
| 計 | １ | １３ | ５ | ５ | ０ | １ | ２５ | ３３．２５歳 |

（２０２０年１月３１日現在）

1. 知的障害状況（療育手帳）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 障害程度区分  性別 | 最重度 | | | 重度 | | 中度 | 軽度 | **合計** |
| -１ | -２ |  | Ａ-１ | Ａ-２ | Ｂ-１ | Ｂ-２ |
| 男性 | ３ | ３ | ０ | ６ | １ | ４ | ０ | １７ |
| 女性 | ２ | １ | ０ | ５ | ０ | ０ | ０ | ８ |
| **計** | ５ | ４ | ０ | １１ | １ | ４ | ０ | ２５ |

（２０２０年１月３１日現在）

1. 障害程度区分

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ３ | ４ | ５ | ６ | 計 |
| 男性 | １ | ４ | ５ | ７ | １７ |
| 女性 | ０ | １ | ３ | ４ | ８ |
| 計 | １ | ５ | ８ | １１ | ２５ |

（２０２０年１月３１日現在）

**－３－**

1. 通所手段

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 送迎利用 | 徒歩 | 保護者送迎 | 計 |
| 男性 | １７ | ０ | ０ | １７ |
| 女性 | ８ | ０ | ０ | ８ |
| 計 | ２５ | ０ | ０ | ２５ |

（２０２０年１月３１日現在）

1. 居住地構成

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 香取市 | 旭市 | 匝瑳市 | 銚子市 | 多古町 | 計 |
| 男性 | １２ | １ | ２ | ２ | ０ | １７ |
| 女性 | ５ | １ | １ | ０ | １ | ８ |
| 計 | １７ | ２ | ３ | ２ | １ | ２５ |

（２０２０年１月３１日現在）

（１１）　　居住先状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 自宅 | 施設（短期入所） | グループホーム | 計 |
| 男性 | １５ | ０ | ２ | １７ |
| 女性 | ５ | １ | ２ | ８ |
| 計 | ２０ | １ | ４ | ２５ |

（２０２０年１月３１日現在）

**４．施設サービス利用率**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 稼働日数 | 利用者数 | 総日数 | 総出席数 | 総欠席数 | 利用率 |
| ４月 | ２２日 | ２５名 | ５５０日 | ４８６日 | ６４日 | ８８．３％ |
| ５月 | ２３日 | ２５名 | ５７５日 | ５１１日 | ６４日 | ８８．８％ |
| ６月 | ２２日 | ２５名 | ５５０日 | ４８４日 | ６６日 | ８８．０％ |
| ７月 | ２３日 | ２５名 | ５７５日 | ５００日 | ７５日 | ８６．９％ |
| ８月 | ２３日 | ２５名 | ５７５日 | ５０１日 | ７４日 | ８７．１％ |
| ９月 | ２２日 | ２５名 | ５５０日 | ４７５日 | ７５日 | ８６．３％ |
| １０月 | ２３日 | ２５名 | ５７５日 | ５０２日 | ７３日 | ８７．３％ |
| １１月 | ２２日 | ２５名 | ５５０日 | ４７３日 | ７７日 | ８６．０％ |
| １２月 | ２３日 | ２５名 | ５７５日 | ５１４日 | ６１日 | ８９．３％ |
| １月 | ２２日 | ２５名 | ５５０日 | ４６１日 | ８９日 | ８３．８％ |
| 合　　　計 | | | ５，６２５日 | ４，９０７日 | ７１８日 | 平均　８７．２％ |

　（２０２０年１月３１日現在）

**－４－**

**５．職員研修**

利用者一人ひとりとしっかり向き合い個々のニーズにあった支援を目標とし、主体的にスキルを磨き職員全員で共有し一貫した支援ができるよう研修を実施した。

【研修実績報告】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施日 | 研修内容 | 参加者 |
| ４月１８日 | 鹿島食品展示会 | 野口てるみ |
| ６月　５日 | 食品衛生組合総会 | 野口てるみ |
| ６月２８日 | 強度行動障害支援者研修 | 宮﨑達也 |
| ７月　２日 | 相談支援従事者初任者研修 | 宮﨑達也 |
| ７月　３日 | 相談支援従事者初任者研修 | 宮﨑達也 |
| ７月　４日 | 強度行動障害支援者研修 | 宮﨑達也 |
| ７月２６日 | 安全運転管理者法定講習会 | 宮﨑達也 |
| １０月２２日 | 全国知的障害福祉関係職員研究大会 | 施設長　日下部由美子 |
| １０月２３日 | 全国知的障害福祉関係職員研究大会 | 施設長　日下部由美子 |
| １０月２４日 | 全国知的障害福祉関係職員研究大会 | 施設長　日下部由美子 |
| ７月　４日 | 強度行動障害支援者研修 | 宮﨑達也 |
| ７月２６日 | 安全運転管理者法定講習会 | 宮﨑達也 |
| １１月１４日 | 千葉県サービス管理責任者基礎研修 | 宮﨑達也 |
| １１月２１日 | 食品衛生責任者実務者講習 | 野口てるみ |
| １月２７日 | 千葉県サービス管理責任者基礎研修演習 | 宮﨑達也 |
| １月２８日 | 千葉県サービス管理責任者基礎研修演習 | 宮﨑達也 |

（２０２０年１月３１日現在）

**６．行事**

（１）施設・地域行事、その他

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 行　　事 | 月 | 行　　事 |
| ４月 | みどり祭り　スポーツレク　お花見 | ９月 | バーベキュー　散策 |
| ５月 | 須賀山城址開山祭り　いちご狩り  　バーベキュー | １０月 | サツマイモ収穫  インフルエンザ予防接種　スポーツレク |
| ６月 | 散策 | １１月 | 避難訓練　バーベキュー |
| ７月 | 健康診断 | １２月 | 大掃除  クリスマス会　冬季特別休暇 |
| ８月 | 個別面談　夏季特別休暇　ぶどう狩り | １月 | 新成人を祝う会　香取神宮参拝 |

（２０２０年１月３１日現在）

-5-

利用者が楽しみにしている、外出や行事を月１回の目安として計画し実行した。４月は橘ふれあい公園で満開の桜を見ながら散策やアスレチックでリフレッシュし、栗山川ふれあいの里公園での散策やスポーツレクリエーションでは、ジャングルロープで頂上まで登ったり、芝生の広場ではマラソンやサッカーなどを楽しんだ。旧高萩小学校の体育館でのスポーツレクリエーションでは、エアーマットが利用者に好評で、リラックスした表情で思い思いに過ごされている姿が印象的であった。前年度は一日かけての散策であったが、午後からに変更したことで、計画通りに実施することができた。バーベキューでは、農耕班が栽培した、ジャガイモやサツマイモも食材と

することで会話や食欲が増し、食べたい物を自分で取りに行き皆お腹いっぱい食べ、準備や片付けも協力して

行うことができた。また、今年度も地域の生産農家の御厚意により、５月にイチゴの杜にてイチゴ狩り、８月には塚本ファミリーぶどう園でぶどう狩りに出掛け、新鮮な果物を自ら収穫し、その場で食べることの喜びを味わえた。８月には、保護者を交えての個別面談を実施し、ご家庭での様子や関わり方、また、施設に対する要望等貴重な意見を頂いた。１２月のクリスマス会では、皆で協力し会場の飾り付けから行い、会食は利用者のリクエストメニューを取り入れ提供した。また、和太鼓「香音」による演奏や体験、香音メンバーと一緒にダンス（パプリカ）を踊るなど貴重な経験をすることができた。利用者一人ひとりに合ったプレゼントや、くじ引きも用意し皆喜ばれていた。１月には利用者２２名と、一年の健康・安全を祈願しに香取神宮へ参拝に行き、参道をゆっくり歩きながら、お団子やコロッケ等自ら購入し食した後、ご家庭へのお土産を購入する利用者も多くみられた。

**７．災害事故防止対策**

（１）非常災害対策

◆目的◆

火災、地震等の災害時における利用者の避難誘導体制の強化・確立を目指し、職員の防災に対する意識の高揚を図る。

【避難訓練実績報告】

|  |  |
| --- | --- |
| 実施日 | 訓練内容 |
| １１月１９日 | 日中地震想定　（初期動作　避難訓練、通報訓練） |
| ３月２５日実施予定 | 日中地震・火災想定　（初期消火訓練　初期動作　避難訓練　通報訓練） |

（２０２０年１月３１日現在）

◆今年度を振り返って◆

　今年度は作業中での地震を想定した防災訓練を実施した。地震発生を知らせる職員の声掛けに、速やかに避難を行える利用者が多く、緊張感を持って訓練に参加できた。しかし、利用者の中には、作業中に使用していた道具を持ったまま避難してしまった方もいた。また、避難訓練の際、欠席の利用者もおり、まだ動きが把握しきれない点がある。点呼方法に関しては、まだ改善の余地があり今後検討していく。今後も様々なシチュエーションを想定した避難訓練を行い、更に防災意識と防災知識を高めていけるよう取り組んでいく。

（２）安全運転管理

◆交通安全への取り組み◆

・　　日常点検、交通安全教育の実施

* 運転日誌の記録
* 運行計画の作成
* 安全運転指導、安全運転ポスターの掲示
* 異常気象時等の措置
* 賠償責任保険や自動車保険の加入等、万全の態勢で取り組んでいる。

6-

**８.給食について**

◆給食での主な取り組み事項◆

・　　衛生管理の徹底

・　　各種点検記録整備

・　　温かい食事、リクエストメニューの提供

・　　行事食の充実

・　　市場価格調査実施

◆今年度の給食運営◆

　利用者が楽しみにしている給食については、月に一度の嗜好調査を行い、利用者がリクエストしたメニューを献立に反映させてきた。また、発語が困難な利用者には、食べ物の写真を取り入れることで選択し嗜好調査を実施することができた。月末の献立表配布を心待ちにされている利用者も多く、自分のリクエストしたメニューがあると、喜んで他利用者や職員に教える姿もみられた。

日々の様子を観察すると共に、家族との連絡を密に取り合うことで、嚥下機能が低下している利用者には個々に合った刻み食の提供を行い、落ち着いた雰囲気の中でゆっくり食事ができるよう留意してきた。また、食べる姿勢や箸の持ち方等の正しい食事マナーを身に付け、楽しく食事ができるよう取り組んできた。おかわりの量は適量且つ他者を気遣えるよう声掛け・見守りを行ってきた。

【嗜好調査反映報告】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 反映されたメニュー | 月 | 反映されたメニュー |
| ４月 | ハヤシライス | ９月 | 親子丼　クリームシチュー |
| ５月 | ミートソーススパゲティ | １０月 | かつ丼　けんちんそば |
| ６月 | チーズハンバーグ | １１月 | あんかけ焼きそば　大学芋 |
| ７月 | 豚丼　カレー | １２月 | 醤油ラーメン　ローストチキン　ポテト |
| ８月 | 目玉焼きのせチキンライス　冷やし中華 | １月 | キーマカレー　マーボー豆腐　餃子 |

（２０２０年１月３１日現在）

**９.健康管理**

利用者は年齢、障害の程度、体力等にそれぞれ差があり、自分の体調不良を言葉で伝えることが困難な利用者もいる。送迎に行った際に保護者とのやりとりを通じ情報を得た事項は、職員全員に報告し情報交換する等、利用者の体調を常に把握し意識してきた。また年１回の健康診断を実施し、施設全体の健康管理に留意すると共に季節ごとに流行する病気などの情報収集、うがい・手洗いの励行等、感染の未然防止に努めてきた。

**－７－**

【感染の予防】

　　　・手洗い、うがいの徹底、インフルエンザワクチン予防接種

職 員　　　１１名

　　　　　　利用者　　　２５名

※２０１９年度　インフルエンザ　感染者　０　人　（２０２０年1月３１日現在）

【健康診断】

・　検査内容　（血液検査、尿検査、心電図、胸部X線検査）　　実施者　１３名　（年１回）

【健康管理と観察】

・　検温　（毎朝）・　体重測定　（毎月１日）

利用者個々の睡眠状況や食事摂取量・排泄・活動・癖やこだわり、表情に留意し、いつもと違う箇所を発見できるよう、常時観察を徹底し、異常が確認された場合には一早く対応できるよう取り組んできた。

**１０．創作活動**

ＤＶＤ鑑賞・ゲーム・塗り絵・カラオケ・ダンス等の活動を中心に行った。その中でも、カラオケとＤＶＤ鑑賞が人気であったが、カラオケやＤＶＤ鑑賞に関心が薄い利用者は、パズルを夢中になり完成させたり、色塗りなどをして皆楽しまれていた。活動の際には、利用者一人ひとりの楽しみ方や関わり方に留意し、少しでも心身のリフレッシュにつながるよう支援してきた。

**１１．地域福祉について**

（１）地域交流

地域交流を兼ね、共存型の地域コミュニティーを実現するために、地域イベントに参加し、地域社会の活性化を目指すとともに、障害者、支援者と地域住民との交流を図ってきた。近隣の小学校が２０１９年４月から統合になった影響で小学生との交流が少なくなってしまった。しかし、今年度も「しもふさ学園　みどり祭り」に参加することができ、みたらし団子が好評だった。店舗では、近隣の高齢者施設の方々が利用してくださった。これからも調理時間をよく把握し、職員間で連携をとり指定の時間に商品提供ができるようにしていく。

年間を通じて多くのお客様に購入していただき、年間販売目標を上回ることができた。来年度も、より良い地域交流の場としていけるよう店舗を運営していく。

　　【年間売上】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 商　品 | 売　上 | 備　考 |
| イベント（１か所） | 団子 | １０，５００円 |  |
| 店舗　　（通年） | 団子・大判焼き・かき氷・心太 | １１１，４１０円 |  |

（２０１９年４月１日～２０２０年１月３１日現在）

**－8－**

（２）日中一時支援サービス

◆内容◆

日中一時支援サービスや特別支援学校、在宅者等の現場実習生を受け入れ、施設の専門機能を提供してきた。障害者等の日中における活動の場（施設における預かり・見守り）を確保し、緊急的な対応から計画的利用など、利用者または家族のニーズに柔軟に対応できるサービスを行っている。日常的に介護している家族

（介護者等）の一時的な負担軽減を図り、地域で生活する児童・成人の方で、日中に介護者がいない場合に日中一時支援サービスを利用できる。

**◆**日中のサービス**◆**

　　　・　自然の日課に沿って過ごしてもらい、施設体験を兼ねて充実した１日を過ごしてもらえるよう取り組んだ。  
　　　　　　　作業・・・農業・園芸・室内作業　　　　　　　　余暇・・・レクリエーション・創作活動等

【日中一時支援サービス利用実績報告】

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 性別 | 利用人数 | 利用回数 | **計** | 月 | 性別 | 利用人数 | 利用回数 | **計** |
| ４月 | 男性 | １名 | １回 | **１回** | ９月 | 男性 | ３名 | ６回 | **６回** |
| 女性 | ０名 | ０回 | 女性 | ０名 | ０回 |
| ５月 | 男性 | ０名 | ０回 | **０回** | １０月 | 男性 | ２名 | １３回 | **１３回** |
| 女性 | ０名 | ０回 | 女性 | ０名 | ０回 |
| ６月 | 男性 | １名 | ５回 | **５回** | １１月 | 男性 | ２名 | ６回 | **６回** |
| 女性 | ０名 | ０回 | 女性 | ０名 | ０回 |
| ７月 | 男性 | １名 | １回 | **１回** | １２月 | 男性 | ２名 | ６回 | **６回** |
| 女性 | ０名 | ０回 | 女性 | ０名 | ０回 |
| ８月 | 男性 | １名 | ３回 | **３回** | １月 | 男性 | ０名 | １回 | **０回** |
| 女性 | ０名 | ０回 | 女性 | ０名 | ０回 |
| **合　　　計** | | | | **４１回** |

（２０２０年１月３１日現在）

**１２.作業活動報告**

利用者個々の希望や、障害及び身体の状況に応じた２班体制で、作業技術の習得及び働く喜びを得るとともに、人との関わりの大切さを知ることにより、自主性を高め、自立した生活を送ることができるよう支援を行ってきた。

**－9－**

２０１９年度　作業指導報告

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業部署名 | | | | | | 農耕班 | | 担当支援員 | | 宮﨑達也　加瀨千秋　鈴木敦功　斎藤隼 | | | |
| **目　　標** | 1. 大根や、からし菜等、積極的に漬物へ加工し、販売を行っていきます。 2. 土壌改良を重視し、年に一度は堆肥を搬入します。 3. 作付けを行う品種を厳選し、収穫できる野菜の品質向上を目指します。 4. 作付け計画を基に、作付け時期、収穫時期等を逃さないよう、取り組んでいきます。 5. 必要な道具を、必要な時に、効率よく使用するため、機械のメンテナンスや手入れを怠らず、適正に運用できるようにします。 6. 防虫や病害虫、霜対策を徹底し、早期発見、対策に努めます。 7. 収穫した野菜は、厨房への納品に拘らず、皆さんのご家庭でも味わって頂けるよう、品質の向上を行っていきます。 8. 日々の作業の中で、利用者さんとの信頼関係を構築出来る様、取り組んでいきます。 9. 常に作物と向き合い、よりよい品質の作物を収穫できるよう、取り組んでいきます。 10. 利用者さんが、楽しんで取り組める作業を提供していきます。 11. やりがいを持ち、作業意欲を向上出来るように、色々な作業を提案するとともに、職員の技術向上を図ります。 | | | | | | | | | | **年間作業報告** | | |
| ４月 | | 葉物播種  夏野菜定植準備  畑整備 |
| ５月 | | 夏野菜定植  葉物播種  ネギ土寄せ  サツマイモ定植 |
| ６月 | | 夏野菜定植  葉物播種  ジャガイモ収穫 |
| ７月 | | 夏野菜収穫  外注作業 |
| ８月 | | 夏野菜収穫  畑整備 |
| ９月 | | 畑整備  外注作業 |
| **作業内容** | 1. 利用者さんが行った作業については、必ず支援員が確認をおこない、より精度の 高い作業を行います。 2. 清潔な環境、調理器具で作業を行えるよう、整理・整頓・清掃を徹底します。 3. 作業が場当たり的にならぬよう、計画を立て、それらの計画に基づき、取り組んでいきます。 4. 窒素冷蔵庫を、適正に使用し、収穫した野菜を、新鮮なうちに提供できるよう、取り組んでいきます。 5. 利用者の表情や様子を注意深く観察し、体調の変化を見逃さないようにします。 6. 気温や季節に合わせた服装で作業に臨むことができているか、作業前には確認を行います。 7. 共通の目的を持ち、目標を達成する為に、農耕班全員が一丸となり、良いコミュニケーションを図りながら、取り組んでいきます。 | | | | | | | | | | 10月 | | 畑整備  外注作業  サツマイモ収穫 |
| 11月 | | 畑整備  大根播種  葉物播種 |
| 12月 | | 畑整備  倉庫周辺整備  倉庫内清掃 |
| 1月 | | 畑整備  倉庫内清掃  ジャガイモ定植準備 |
|  | |  |
| **今年度の事業運営報告** | | 年間を通して、的確な作付けや収穫が出来ませんでした。また、播種や病害虫対策、自然災害への対策も不十分なところがあり、思ったような成果が出せず、冬に向けての作付けがほとんど出来ませんでした。職員間の意見の相違、連携不足等も一つの要因であり、また台風１５・１９号により播種準備が遅れ、収穫も遅くなってしまうということがありました。効率化を図り、作業機械を導入したのにも関わらず、うまく生かしきれてないのも現状です。  冬期に収穫を目指す野菜は、８月後半から準備を行うのが通常ですが、今年は台風の影響で停電になったり、外注作業があったりと、二班に分かれてでは利用者さんに的確な支援を行えない状況でした。また、台風や大雨の影響で畑に行く道に倒木があったり、ぬかるんでしまったりと、利用者さんの安全第一を考えると無理をして連れていく事が出来ませんでした。さらに外注作業も納品期限が迫っているという事もあり、外注作業を優先させてしまい、作付けを行うことが出来ませんでした。  来年度は、今年度のような失敗をしないよう野菜ごとに担当者を決め、最後まで責任を持って取り組んでいきます。また、自然災害は当たり前だと思い、事前に備え、いろんな災害に対応できるよう職員間の連携、スキルアップを常に意識して日々の農耕作業に邁進していきます。さらに農機具をうまく生かし、作業効率のアップ、質の向上を目指します。 | | | | | | | | | | | |
| **２０１９年度農耕班売り上げ明細** | | | | | | |  | | | | |  | |
| 品名 | | | | 単価 | | | | | 数量 | | | 金額 | |
| トウモロコシ | | | | １本　1００円 | | | | | ３５本 | | | ¥3,500 | |
| サツマイモ | | | | １kg　1００円 | | | | | １２０kg | | | ¥12,000 | |
| 大根 | | | | １本　５０円 | | | | | ２１本 | | | ¥1,050 | |
|  | | |  |  |  | | | | 総売上 | | | ¥16,550 | |
|  | | |  |  |  | | | |  | | |  | |
| |  | | --- | |  | | | |  |  |  | | | |  | | |  | |
|  | | |  |  |  | | | |  | | |  | |
|  | | |  |  |  | | | |  | | |  | |
|  | | |  |  |  | | | |  | | |  | |
|  | | |  |  |  | | | |  | | |  | |
|  | | |  |  |  | | | |  | | |  | |
|  | | |  |  |  | | | |  | | |  | |
|  | | |  |  |  | | | |  | | |  | |
|  | | |  |  |  | | | |  | | |  | |
|  | | |  |  |  | | | |  | | |  | |
|  | | |  |  |  | | | |  | | |  | |
|  | | |  |  |  | | | |  | | |  | |
|  | | |  |  |  | | | |  | | |  | |
|  | | |  |  |  | | | |  | | |  | |
|  | | |  |  |  | | | |  | | |  | |
|  | | |  |  |  | | | |  | | |  | |
|  | | |  |  |  | | | |  | | |  | |

２０１９年度　作業指導報告

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業班名 | | 園芸班 | 担当支援員 | 日下部由美子　　野口てるみ　　林健之  　向後純子 | | |
| 目　　標 | 1. 季節に応じた花苗を園庭に定植し、施設周辺に花が絶えないようにする。 2. 施設周辺整備や、施設内の清掃を行っていく。 3. 作業棟の整理整頓、作業道具の後片付け・管理を徹底し美化に努める。 4. 利用者個々に合わせた支援をし、作業に参加できるよう取り組んでいく。 5. 見守りやマンツーマンでの対応が必要な利用者も安全に過ごせるよう支援していく。 6. 外注作業は、発注先からの作業指示や納期等を意識して取り組んでいく。 7. 流れ作業をするうえで重要な、自分の役割を最後まで責任を持ってやり遂げることの大切さや、仕事をすることの厳しさ、面白さを体感できるようにする。 8. どのような作業でも班全員で団結して取り組み、楽しんで作業できるよう努める。 | | | | 年　間　作　業　報　告 | |
| ４月 | 園庭花壇整備  施設内整備  夏花播種  外注作業 |
| ５月 | 園庭花壇整備  育苗作業  畑整備 |
| ６月 | 園庭花壇整備  花苗定植  畑整備 |
| ７月 | 園庭花壇整備  畑整備  施設内整備 |
| ８月 | 園庭花壇整備  施設内整備  畑整備 |
| 作　業　内　容 | 1. 園庭や花壇に毎日目を向け、天候や気候に合わせて、水やり・除草・追肥等の管理を怠らないよう努める。 2. 除草作業や芝の管理を怠らない。 3. 作業後は必ず支援員が確認を行い、ハウス内・作業棟の整理整頓を定期的に行う。作業で使用する道具・工具の手入れや掃除を行い、大切に使用していく。 4. 利用者一人一人に目を向け、常に向上心を忘れず支援していく。 5. 外作業だけでなく室内での活動も並行して行い、見守りが必要な利用者も安全に過ごせるよう取り組んでいく。 6. 外注作業では、利用者各々の能力に合わせた作業道具を支援員が工夫し提供すると共に、声掛けしながら共に作業を進めていく。 7. 外注参加者が一丸となれるような作業内容の工夫をし、達成感が持てるよう取り組んでいく。 8. 支援員が笑顔で作業や手本を示すことで、利用者が楽しみながら向上できるように支援していく。 | | | |
| ９月 | 園庭花壇整備  バラ剪定  冬花播種  外注作業 |
| １０月 | 外注作業  施設内整備  園庭花壇整備 |
| １１月 | 外注作業  花苗定植  施設内整備  園庭花壇整備 |
| １２月 | 園庭花壇整備  外注作業  花苗定植 |
| １月 | 施設内整備  外注作業  園庭花壇整備  施設内清掃 |

|  |  |
| --- | --- |
| 今年度の事業運営報告 | 今年度は、利用者１３名支援員４名で作業を行ってきた。  園庭花壇管理では、春には播種から育成したペチュニア・コスモス・マリーゴールド・けいとう・千日紅、秋から冬にはパンジー・ストック・チェイランサス・アリッサム・デージー・シルバーレースなど季節を通して様々な花を播種から育成し定植することができた。播種・ポット移植・定植など個々に合った作業が行えるよう取り組んできたが、ポット移植後の花苗の管理については、育苗ハウスが施設外にある為、定植時期まで支援員が中心になり管理を行ってきた。また、猛暑や台風の影響により、発芽率が悪かったり花苗の生育不良が若干あった。定植の際には、見栄えのある花壇になるよう花苗を何度も置き換えながらレイアウトを考え、利用者と共に賑やかに楽しく定植を行うことができた。花殻摘みや水かけ、草取りも皆で協力して行い、自分達の育てた花がきれいに咲いている様を見て、落ち葉やゴミを拾いより一層きれいさを保てるよう心掛けてきた。また、来客や施設周辺に散歩に来た近隣の方から声を掛けられると、利用者の自信に繋がり元気に溌溂と作業に取り組むことができた。  アタリヤ農園の外注作業では、９月にダイソー商品チューリップ球根ネット詰めや、１０月からＤＣＭの栽培セット（ベビーリーフ・青じそ）の組み立ての受注がコンスタントにあった。外注作業は、天候や気温に左右されず室内での作業となる為、園芸班だけでなく多くの利用者が携わり、協力することの大切さや働くことの喜びを分かち合い、今年度も工賃を１９名に支払うことができた。  園芸班の利用者は、室内中心での活動をする方や、全てにおいてマンツーマンでの対応や見守りが必要な利用者が大半な為、園芸班だけでは園庭整備と外注作業の両立は難しく、今年度も農耕班の協力があったからこそ、利用者全員が心身共に笑顔で安全に活動することができた。来年度は、更に施設内整備と外注作業に力を入れると共に、利用者の活力となる支援ができるよう支援員一丸となり取り組んでいく。 |

**《２０１９年度アタリヤ農園外注工賃》**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **外注内容** | **個数** | **工賃** |
| **ユリ球根ネット詰め** | **３５７ネット** | **３，５８９円** |
| **アスパラ株** | **１９１個** | **２，７９５円** |
| **アリウム球根ネット詰め** | **２，４００ネット** | **１１，０９７円** |
| **ヒヤシンソイデス** | **４，０００ネット** | **１２，４００円** |
| **チューリップ球根（ダイソー）** | **１５，０００個** | **３３，０００円** |
| **ガーデンレタス栽培セット** | **３，２４１個** | **５４，７４７円** |
|  | **合計** | **１１７，６２８円** |